

※余裕期間制度や週休2日制度以外で、
特記仕様書等に定めのある場合は、「特記仕様書第〇に記載する内容のとおり」と記載

※特記仕様書等に定めのない場合は、「なし」と記載

建設工事請負契約書

収入
印紙

1 県の工事番号

2 県の工事名

3 工事場所

余裕工期を含む全体工期を記載

4 工期

自 年 月 日 から

至 年 月 日 まで

5 工事を施工しない日

工事を施工しない時間帯

6 請負代金額

¥

(うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 ¥)

7 請負代金額の支払地

8 契約保証金

9 建設発生土の搬出先等

10 請負代金額のうち解体工事に要する費用等

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の佐賀県建設工事請負契約約款の各条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、別紙共同企業体協定書により頭書の工事を共同連帯して請け負う。

この契約の証として本書 通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通を保有する。

年 月 日

発注者 住所

氏名

印

受注者 住所

氏名

印

※ この様式に記載された個人情報は契約書類としてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

現場代理人等通知書

年月日:

収支等命令者 (発注者) 殿

(佐賀県〇〇市〇〇町〇-〇-〇)
(受注者) 株式会社〇〇〇〇建設
代表取締役 〇〇 〇〇



R3.4.1以降
押印廃止

令和〇年〇月〇日付けをもって請負契約を締結した 〇〇〇〇 第0000000-000号 〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇工事 について佐賀県建設工事請負契約約款第10条に基づき現場代理人等を下記の
とおり定めたので別紙経歴書を添えて通知します。

記

現場代理人氏名 〇〇 〇〇

主任技術者又は
監理技術者等氏名※ (〇〇 〇〇) (専任)

専門技術者氏名 〇〇 〇〇


専任の主任技術者の場合は、
氏名の横に「(専任)」と記載

監理技術者補佐がいる場合は、
監理技術者氏名の下段に
「(監理技術者補佐氏名)」を記載

※「資格者証(写し)」を添付する。

年月日：

経 歴 書

(現場代理人等氏名) 株式会社○○○○建設
○○ ○○  R3.4.1以降押印廃止

資格及び資格番号 ※現場代理人は不要

*職 歴 略歴を記載してください。(1,2行程度で構いません)
例) ○年○月 ○○入社 等

*工 事 経 歴 直近の工事や類似工事を記載してください
(1,2件程度で構いません)
例) ○年○月～○年○月
○○○○○○○○○○○○○○○○工事
現場代理人として従事 等

~~*は、必要により記載する。~~

※「資格者証(写し)」を添付してください。

※様式－1に記載のある全ての現場代理人等の書類を提出すること

※建退共掛金収納書を添付するための様式を新設しています。

建設業退職金共済制度の掛金収納書

年月日：

支出又は分任支出負担行為担当官（官職氏名）
収支等命令者 殿

(受注者) (佐賀県〇〇市〇〇町0-0-0)
株式会社〇〇〇〇建設
代表取締役 〇〇 〇〇

建設業退職金共済組合証紙購入報告

R3.4.1以降
押印廃止

下記のとおり証紙を購入したので当該掛金収納書を添付して報告します。

工事名	〇〇〇〇 第0000000-000号 〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇工事	工 期	余裕工期を含む全体工期を記載
契約年月日	令和〇年〇月〇日	契約金額	当初契約金額を記載
共済証紙購入金額	¥		
掛金収納書を貼る（契約者から発注者用）			

(注) 添付する掛け金収納書は中小企業主に雇われる場合は赤色、
大手事業主に雇われる場合は青色